



Go Playing Fellowship of Rotarians

ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

No. 22

2013年5月15日 発行

HP <http://www.gpfr.jp>

孤高の塚本五段が初栄冠

<第14回ロータリー国際囲碁大会>

ミサイル騒動で台湾が無念の不参加に



開会式のセレモニーを終え対局に入る前に日韓両国の参加者全員で記念撮影。前列中央が石井良昌 GPFR 会長、右に李在允韓国名誉会長、新藤信之日本支部長。台湾の不参加が寂しい中で、日韓の女性5人が輝いています(韓国大邱市2013・4・12)

< 第 14 回ロータリー国際囲碁大会結果 >

於 韓国大邱市 2013年4月13日

甲組(四段以上)		乙組(三段まで)	
優勝	塚本 利光五段(東京京浜)	優勝	池 和鎮三段(韓国・大邱囲碁)
準優勝	厳 熙復四段(韓国・大邱囲碁)	準優勝	尹 舜基初段(韓国・大邱囲碁)
3位	李 明雨四段(韓国・大邱囲碁)	3位	金 益威二段(韓国・大邱囲碁)
4位	李 銓基四段(韓国・大邱囲碁)	4位	舜 善淑 4 級(韓国・大邱囲碁)

「友」6月号に GPFR が特集で掲載

「ロータリーの友」6月号(6月1日配布)に、ロータリー囲碁同好会(GPFR)の活動が親睦月間の特集として掲載されています。平成18年6月号に続いての2度目の特集記事になりました。日本ロータリーが生んだ最初のR I 認定の親睦団体であり、日韓台の熱意溢れる活動が評価されたのでしょう。別の写真が2葉選ばれていまして、見比べてください。



日本チーム参加者 17 人のうち 15 人は団体ツアーを組み釜山からバスで大邱に。世界文化遺産に指定された慶州・仏国寺を訪ねました。単独で参加された 2 人は直接囲碁会場で合流しました

不安感が漂う釜山の空気に驚く

思わぬ大歓待に戸惑う日本チーム

ロータリー囲碁同好会(GPFR)主催の「第14回ロータリー国際囲碁大会」は4月12日(金)、13日(土)の両日に韓国・大邱市の徳榮歯科病院ビルで開かれ、日本から石井良昌 GPFR 会長(尼崎西)ら役員4人と大会競技に出場する新藤信之日本支部長(東京立川こぶし)ら13人の計17人が参加しました。折悪く大会前日の11日が北朝鮮のミサイル発射の山場と見られる特定日とあって、台湾が突然の不参加を決定し、思わぬ日韓対決の大会となりました。

台湾の出場キャンセルは2003年春のSARS騒動による第4回国際囲碁大会(東京・日本棋院開催)以来2度目の事で、今年の鳥インフルエンザの走りの年だったことを思い出しました。

参加予定の会員から「北朝鮮ミサイルが真実となったら囲碁どころではない」「釜山行きは本当に飛ぶのか?」という声があり、出発前々日の9日朝に石井、新藤両氏の決断によって参加を決めました。「北朝鮮の脅しには乗せられない」との強い意志があったそうです。

北朝鮮では13日(日)に平壤で国際陸連公認のフルマラソンが海外から招待選手を招いて予定通り開催するという話も入っていたので、11日午後3時、不安があるものの勇んで集合場所の釜山空港に降り立ちました。

空港には大型観光バスが待機していてガイド嬢が「釜山は、いま戦闘の危機下にいます。ミサイルが発射されたらソウルは近すぎるので釜山に落としてくるかもしれない」というのです。「まさかあー」と声があがったのですが、彼女は真剣そのもの。日本の自衛隊の戦力にも詳しくて、やはり日本は平和ボケかとも思ったりしました。着いたホテルでTVを見ると現地放送はミサイル情報のニュースで一杯。38度線近くの村では「北の攻撃が始まった」とのデマに動かされて村人が一斉避難したという緊迫した報道が繰り返し流れていて、日本とは段違いの空気に驚かされました。

もっと驚いたことは、翌12日午後3時に韓国支部に予約してもらった大邱市内のホテルに到着すると、李在允韓国名誉会長夫妻をはじめ玄哲永大会実行委員長(六段)など韓国チームが総出で出迎えてくれたことです。これまでの韓国開催の国際囲碁大会では、韓国支部役員数人の静かな出迎えを受けたことがありましたが、こんな歓迎は初めて。ビデオの撮影班までいるのです。

「ミサイルの下をくぐって大邱に来ました」というジョークに拍手を受けましたが、日本チームの心意気に感謝されただけではなく、恐らく言葉のままに受け止めてくれたのかもしれない。

この歓待への戸惑いは、帰路の14日(日)午前9時に大邱のホテルからバスに乗り込むまで続きました。到着の12日は大邱郊外の山中にある名山、把溪寺で日韓チーム合同での予定にないお茶会、夜にはマッカリパーティーに誘われ、大会本番の13日の対局中では、石井会長ら4人の日本役員に、日本語が堪能な李在允さんの美人秘書が市内の市場などを案内して

くれるサービスぶり。閉会式後の晚餐会にも二次会が設定されて、韓国料理店での宴会は深夜にまで続いたのです。こんなもてなしを受けたことは、もちろん初めてのことでした。

初の 2 クラス制に

大会は 12 日（金）午後 7 時に徳榮歯科病院の大ホールで開会式が行われ、石井 GPFR 会長の記念点鐘で始まりました。用意されたプログラムには、楊敏盛台湾名誉会長の挨拶文が顔写真付きで紹介され、正面には台湾の旗も掲揚されており、やはり台湾不在に李在允さんの歓迎の挨拶も湿りがちでした。

しかし、開会式は大掛かりで第 3700 地区の呂成源ガバナー、李華榮ガバナーエレクトも顔を揃えて、日本チーム歓迎のための演歌ショーもあり、メインスピーチに立った石井会長は GPFR 活動を紹介しながら碁盤を通しての親睦を図って努力を重ねた日韓台三国の 14 年にわたる意義を強調されていました。隣接の小ホールでの晚餐会では、地元の RC 会長さんが「日韓には難しい問題が多々あるが、こうしたロータリアンの交流が互いの理解を段々に深めて行かろう」という挨拶は印象深いものでした。

本戦は翌 13 日午前 10 時から予選 3 戦を行い、午後 2 時から甲乙 2 クラス（上級者は四段以上）各 4 人が勝ち上がって決勝戦 2 局で優勝者を決めると発表があり、スイス方式によりこの 8 人を選定するということです。2 クラス制は初めての事ですが、韓国支部は台湾不参加により日本の参加者に合わせて、当日になって韓国チームを少人数に絞ったそうです。このためか、韓国参加者の多くは世界に一つだけという大邱囲碁 RC の会員がほとんどで、3700 地区以外ではソウル安岩 RC の鄭宗謨三段の 1 人だけでした。

決勝に塚本五段ひとり

初めての事はもう一つ。段位認定の件です。これは第 1 回国際囲碁大会から懸案になっていたのですが、日韓では段位の実力に大きな差があることです。韓国は中国と共に囲碁は体育の 1 種目であり、厳格な段位認定制度があって、五段はしかるべき囲碁選手権大会での優勝者に限られ、六段は複数回の優勝経験者のみ与えられる「資格」なのです。囲碁大学もあり、名刺にも資格として段位を明記する人も多いと言います。

これまで日本チームに限り段位は自己申請でしたが、今回から最高位は五段としてエントリーすることにしました。

しかし、予選結果は日本チームには散々なもので、決勝に残った 2 クラス 8 人の中に塚本五段ひとりしか名前がないのです。初級者クラスの三段以下は全滅です。その塚本五段が爆発しました。予選ではグループに 2 勝 1 敗が 3 人いたそうで、玄実行委員長の計らいで指名されて決勝に進んだとか。準決勝戦は 1 目勝ちという薄氷の進撃でしたが、決勝戦は堂々の中押し勝ち。思わず塚本五段に抱きついて祝福した人も。ガツカリの後での大逆転劇に、チームの一員として感動を覚えたようです。塚本五段は 65 歳の元東京・品川区議。区議会議員も務め、現在はビルオーナーだそうです。全国囲碁大会では、審判長をお願いしています。

初級者クラスは段位差があり過ぎました。私としては、韓国の初段は日本の三段以上、韓

国2級が日本初段と見合うかな、という印象です。歯が立たないのです。

今回は女性参加者が両国で計5人の出場となりました。6年前に大邱で開催した大会にも女性陣が大邱囲碁RCから数人参加したことがありました。その時に「もうすぐ女性だけの囲碁RCを設立する運びで、実現したら、また世界唯一のクラブができます」との話でした。その後の話を聞きそびれてしまいました。女性参加者全員が大邱囲碁RC会員でしたので、まだ創設されていないようです。

20 クラブの事務局が同じフロアに

大邱市は人口250万人の韓国第三の都市です。市内にはRCが90クラブあり、このうちの25クラブを李在允さんがガバナーとして創設したそうです。目を見張ることは大会場の徳榮病院ビル内4階がロータリーフロアになっていることです。20クラブが4階に入居しており、事務局だけではなく大中小の例会場があるのです。ロータリーのセレモニーでは、囲碁大会で使用した7階大ホールを使い、6階のレストランから食事を規模に応じて整えるのです。

事務局は廊下を挟んで並んでおり、一つの部屋を最大3クラブが同居。モーニングクラブ囲碁RCもあり、まさにロータリーの殿堂を見た気がしました。

李在允さんは2年前に「ロータリーの友」の韓国版の編集長を務めるなど、韓国ロータリーの中心で活躍しておられ、日本には日韓会議や地区大会でのRI会長代理などで計80回も来日しているそうです。李さんはインプラントの第一人者で、若い15人の医師がいました。

「週刊碁」にも掲載

日本棋院発行の「週刊碁」5月6・13日合併号17ページ碁界短信欄に、「塚本さん優勝 ロータリー国際囲碁大会」の見出しに写真入りで報道されました。これは参加された成島眞五段が投稿されたもので末筆に（成島）とありました。素晴らしいことは塚本さんの優勝報告に加えて、記事に「ロータリークラブは、春と秋に日本棋院にて大会も行っており、囲碁を通じて世界の和を広める活動をしている」と結ばれていたことです。有難うございました。

また、水野雅生初段が大会の様様をDVDに編集されてお送り頂きました。いつも次回の国際囲碁大会の昼食時にご披露頂いています。ご苦勞をお掛けして恐縮しております。

もうひとつ、ニュースがあります。石井GPFR会長が大会の囲碁競技に加わります。次回全国大会で恐らくデビューです。

最後に、この団体旅行は東京青山RCの金澤拓平四段が社長を務める日洋航空(株)のお世話になりました。釜山のコモドホテルは格式のある高級ホテルでしたし、観光バスも大型のゆったりした座席にサービス精神たっぷりのガイド嬢と有名焼き肉店のご案内など、満足感100%の旅行を一同楽しむことができました。それに「儲けなしです」との金澤社長に感謝するのみでした。新藤支部長は6月のリスボンRI国際大会のツアーもお願いしたそうです。金澤さんは香港と豪州のロータリアンと親しく、支部立ち上げにも動いて下さるといいます。

(GPFR 日本支部幹事 太田清文)

対局競技者（13名）

6

①Naoko Okada 岡田 直子	5級	Tokyo-Tsukiji 東京築地	2750
②Masanori Kusaka 日下 将孝	3級	Fukushima-Chuo 福島中央	2530
③Masao Mizuno 水野 雅生	初段	Tokyo-Ginza-shin 東京銀座新	2750
④Seibun Ohta 太田 清文	初段	Tokyo 東京 日本支部幹事	2580
⑤Nobuyuki Shindo PDG 新藤 信之	初段	Tokyo-Tachikawa-Kobushi 東京立川こぶし GPFR 理事 日本支部長	2750
⑥Hiroki Nagata 永田 博巳	3段	Kakogawa-Heisei 加古川平成 GPFR 理事	2680
⑦Osamu Kida 貴田 収	3段	Komatsujima-Minami 小松島南	2670
⑧Takuhei Kanazawa 金澤 拓平	4段	Tokyo-Aoyama 東京青山	2750
⑨Kazuhiko Ohtsuka 大塚 和彦	5段	Ohgaki 大垣 全国大会優勝者	2630
⑩Hisanori Okamoto 岡本 久永	5段	Toyohasi-golden 豊橋ゴールドデン	2760
⑪Makoto Narushima 成島 眞	5段	Tokyo-Tachikawa-Kobushi 東京立川こぶし	2750
⑫Tatsuji Oshima 大島 達治	5段	Sendai 仙台	2520
Toshimitsu Tsukamoto ⑬塚本 利光	5段	Tokyo-Keihin 東京京浜	2750

役員

①Yoshimasa Ishii PDG 石井良昌 GPFR 会長		Amagasaki-West 尼崎西	2680
②Nobuhiko Nakao 中尾 信彦 GPFR 理事		Amagasaki -West 尼崎西	2680
③Tohei Tomimoto 富本 東平 日本支部理事		Awaji-Chuo 淡路中央	2680
④shigeyasu Mizutani 水谷 重康 日本支部理事		Takarazuka-Mukogawa 宝塚武庫川	2680



日本チームの熱い応援を受けてただ 1 人決勝に勝ち上がった塚本五段は見事に優勝へ



李さんが設けて下さった二次会が祝勝会に。チマチョゴリの美人の歌と踊りにも歓声が



会場となった 7 階建ての徳榮歯科病院ビルは 4 階がロータリーフロアで大中小の例会場も備えて 20 クラブの事務局が入居。見学した我々はただただ唖然とするばかり



結団式は釜山の焼肉店で特製マッカリ登場



釜山一大邱間はバス移動。12 日は大邱到着後すぐに李さん夫妻から山中にある把溪寺に案内され、お茶会に臨む。帰路は釜山の焼肉店と大型免税店にも寄って、一同ご満悦な旅に



13 日の表彰式後に晩餐会が開かれ、お土産交換で李さんからのプレゼントに韓国囲碁界の曹薫鉉、李昌鎬、崔明勲の扇子を頂き、韓国支部の玄永哲大会実行委員長から解説を受ける

秋の全国囲碁大会のご案内

「第12回ロータリー全国囲碁大会」を下記のとおりで開催いたします。全国大会の参加申込書と振込み用紙をこの会報と一緒に同封しますので、お確かめください。参加ご希望の方は「参加申込書」にお名前等を明記してFAX(03-3452-1652)でご連絡ください。お問い合わせは下段の専用FAX宛にお願い致します。ご連絡を受けましたら、日本支部よりFAXで返信致します。ご家族のご参加も歓迎します。

GPFRはRI認証団体ですので、大会参加はメイクアップとなります。

<記>

日時	平成25年11月2日(土)10時開会16時まで
登録受付	午前9時30分より
会場	東京・市谷の日本棋院会館1階
ルール	3クラス早碁戦 コミ6目半 計時制
登録料	7000円(賞品、昼食等を含みます)

年会費納入のお願い

ロータリアンの囲碁仲間をGPFRにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位、紹介者を明記して所属のクラブ事務局を通じてFAXで下記のGPFR日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。GPFR活動、会則についてはGPFRのホームページ<http://www.gpfr.jp>をご覧ください。

年会費を同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、2013-14年度会費分として6月末までに2000円をご送金ください。

また、11月2日(土)の全国囲碁大会(日本棋院)にご参加ご希望の方は同封の郵便振替用紙の通信覧に、「全国大会参加」と明記して大会登録料7000円を会費2000円に加えて計9000円を送金してください。申し込みの締め切りは10月25日(金)。参加申し込みを受け取り次第すぐに大会参加要領をFAXでお知らせ致しますので、ご自宅等のご連絡先のFAX番号等を必ずお書き添えください。なお、振込み手数料(100円)はご負担ください。GPFRは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会
専用 FAX 03-3452-1652
日本支部長 新藤信之